



明倫の里 城北 ともしび

発行・城北コミュニティ 丸亀市御供所町一丁目5番20号
城北コミュニティセンター「明倫」☎25-2141

城北地区人口

世帯数	2,772 (-7)
人口	5,974人(-9)
男性	2,807人(+2)
女性	3,167人(-11)

(平成29年9月1日現在)

(カッコ内は平成29年8月1日比)

地域の課題を要望 市長懇談会で

「平成29年度コミュニティ市長懇談会」が7月27日、明倫センターで開かれ、鈴木会長や役員、自治会長らが、地域の課題について梶市長や地域担当職員に疑問をぶつけ、改善を要望しました。

冒頭、梶市長は「一年一回の懇談会ですが、地域の課題や課題をお聞きする場として非常に重要です。行政が多忙な状況の中で、コミュニティのボランティア活動は不可欠であり、引き続きご協力をお願いしたい」と挨拶しました。

これに対して、コミュニティからは地域に関係した重要な意見や要望が数多く出されました。主な質疑は次の通りです。

——コミュニティセンターの駐車場用地取得の進捗状況の説明を。

市今年4月に相続管理人に用地買収を伝え、家屋内外の確認を終えた。9月議会に提出する補正予算案に計上する。



熱心な話し合いが...

——用地買収を終えた城北小学校運動場北側の拡張工事のスケジュールを示してほしい。

市来年度に設計を開始する。整備を行うに当たっては市の財政状況を考えながら取り組む。具体的な年次計画は示す段階がない。東門の配置変更は設計時に検討したい。

——城北小新築工事の際、

大型車両が通行して傷んだ道路は完成後に補修することだったが、南側道路と南側一方通行道路は補修されていない。通学路であり、早急に対処してほしい。

市平成26年度より市全域の道路について優先順位をつけて実行している。29年度は西側一方通行を舗装、そのほかは舗装状況を確認しながら検討していく。——災害時に住民が城北小へ避難する道路が限られており、高架下のフェンスを南北に開くようにし、災害時の避難路を確保検討してほしい。

市(フェンスの改造について)速やかに検討します。

自由討議では「土居町二丁目目地使用していない生活水路にごみ・虫などが発生し、担当課にお願いしているが、2ヶ月たっても清掃してくれない」「御供所町の密集住宅地の改善を——などの要望

がありました。

このほか、健康課から「城北地区の特定検診の受診率が17コミュニティ中16位と悪い。〈健康10か条〉で定めた10の受診を重点項目に取り組み」と説明がありました。

ほくほくふれあいまつり

開催は10月8日

第21回ほくほくふれあいまつりを10月8日(日)午前9時から城北小学校で開催します。

誰でもできるジャンケンゲームなど子供から大人まで楽しめる競技が多数用意されています。

また、小中学生の演奏や4.5歳児のリズム演技、人気の100円くじ(一人5枚まで)からバザー、喫茶、足指筋力や、血管老化度測定など盛りだくさんです。ご近所お誘いあわせの上ご来場ください。



みんなで子供を育てる実践活動発表

青少年育成支援リーダー研修講座が7月25日、アイレックスで行われました。

最初に香川大学準教授の大久保先生より講話があり、いじめや非行・問題行動で大事なものは、なくすことではなく、被害者・加害者が立ち直れる

社会にしていける事であるとのことでした。

続いて、片山所長より「コミュニティ活動の報告」と「あいさつ運動など地域に応じた子供との

ふれあい活動」「町歩き防犯防災マップ作成事業」の発表があり、未来ある子供たちへの熱い思いを

敬老会開かれる

城北地区敬老会（市・城北婦人会主催）が9月16日城北小学校体育館で開かれました。会場へ来られた方の中には「わし

は88歳の祝金が楽しみであった」と笑顔で元気に参加していました。今年丸亀警察署生活安全課の方の軽妙なトークで笑いの中に「日頃から自分の身を守る」防犯教室の勉強をしました。



不審な電話には気をつけて……

今年の城北地区招待者（75歳以上）は、1153人（男性407人・女性746人）でこのうち約120人が式に出席しました。そして高齢者代表松野ヒデノさんに、市長から記念品が贈呈され

感じた一日でした。

（環境部会）



城北の発表に聞き入っています

ました。最後にはみんな一緒に、おなじみ体操で敬老会を終えました。

（城北婦人会）

暑い夏を乗り切れたのはゴーヤのおかげ？

ゴーヤ料理教室が8月8日、明倫センターで35人が参加して開かれました。毎年恒例の天ぷらやゴーヤチャンプル、佃煮などを作りました。

男性陣は、慣れた手つきで見事な天ぷら、自慢の腕を振るっての煮物な

ど、和気あいあいとした雰囲気の中、各班いい味を出していました。

ゴーヤとバナナのジュースは「夏の疲れも吹き飛びそう」という声も聞かれ大人気でした。

また、皆様から沢山のゴーヤを頂き本場にありがとうございました。

（環境部会）



いい味にできそうです

室内ペタンク大会結果

7月23日、城北小学校体育館で13チームが参加して行われました。結果は次の通りです。

- ◆ブロック優勝チーム
- ◆城北ペタンクA
- ◆城北ペタンクC
- ◆ワンピース

お話し会

明倫センターで8月1日読書ボランティア「四つ葉のクローバー」を迎えて、絵本の素晴らしさを親子33人で楽しみました。

ピアノ演奏にのせてスライドショウでイソップ物語の「いなかのネズミ」とまちのネズミ」「ライオンとネズミ」を静かに聞きました。手遊びを入れた「おとなりさん」「むしむしとことこ」の話や丸亀城の3つの一位の話も聞きました。「お化けがぞろぞろ」では子供たちは元気に質問に答えていました。（城北愛育班）



親子で楽しみました

「介護教室」開催

福祉部では、青の山荘との連携による介護教室を7月15日70人の参加で開催しました。テーマは「こけたらこうしよう!」。高齢者になると気をつけることの第一は転倒です。転倒が原因で骨折し、歩けなくなったという話はよく耳にします。今回は①普通に転倒した場合やベッドから落ちた時を想定し、処置方法また対応の大切さを介護のプロに指導していただきました。



重りをつけて体験

参加者も真剣に実践しました。②また、足腰が弱ってきた時、目が悪くなった時を想定し足には重りを、目には特製メガネ器具を使用しての動き方の体験に四苦八苦し、こ

皆で歌えばなお楽し

文化部会の主軸である脳トレの音楽活動がスタートして2年目、8月8日は11日の「山の日」を前に山をテーマにした曲を合唱。中でも「富士の山」が強く印象に残りました。さらに、打楽器

使って合奏。子供になり切ったひと時で音楽の世界に引き込まれ、楽しい雰囲気になりました。講師は香川短期大学で指導されている岩永十紀子先生で、素晴らしい歌声とユーモアあふれるお話もあって、活力をもらっています。

(文化部会)



先生の笑顔につられて大きな声で歌っています

の時ばかりは体力に自信のある人も毎日の健康管理の必要を痛感したとのことでした。意見交換では体験で実感した思い思いの活発な発言があり、盛況の内に終わることができました。福祉部では皆様の役に立つためには「何をどのように」すべきかを常に考えて活動しております。

また、12月には第二回「高齢者による弁論大会」を予定しています。皆様の参加をお待ちしております。

(福祉部会)

料理名人の集合



いい手つきですネ!

8月25日、明倫センターで幼稚園児から六年生までとヘルスメイト合わせて30人が参加して親子料理教室がありました。

『トウモロコシご飯◇和風チキン野菜カレー◇夏野菜サラダ◇フルーツ豆腐白玉』を作りました。

ねこの手のように指先を丸めて包丁を使う子、資料を読み取り良くする子、包丁さばきの上手い男の子、苦心して彩り良く盛り付ける子、各々、頑張っていました。

ワイワイ言いながら、みんなが美味しく食べました。

(保健部会)

だれでも簡単にできるよ

比較的簡単なルールで手軽に楽しめることを目的に考案された「ニュースポーツ」。6月11日、明倫センターで34人が参加して体験会が行われました。今回は輪投げとマジックダーツの他に、新しくピンポンをしました。

次回は9月24日(日)に新種目の「フロアカローリング」を行います。

大勢の方の参加を待っています。

(体育部会)



ピンポンで楽しく

学園の現場から

丸亀市立東中学校吹奏楽部
部長 加藤 優

私たち吹奏楽部は、現在1・2年生28名で日々活動しています。

この夏休みの前半は、吹奏楽コンクールに向けて部員一丸となって取り組んできました。3年生の先輩はこの大会が最後ということもあり、率先して必死に練習し、私たちを引っ張って下さいました。

演奏ドリルでまほまほ



楽器ごとに分かれるパート練習のときには、和音が乱れていないか、強弱はつけられているかを確認し、合奏練習のときには、全体のバランスやハーモニーの調節や表情をつけていくことに力を注ぎました。その結果、今年

は昨年の銅賞よりワンランク上の銀賞をいただくことができました。でも金賞ではなかったため、来年は絶対に金賞を取りたいです。

そして夏休みの後半から、マーチングコンテストの練習(写真)が始まりました。9月からは市民ひろばをお借りして、仕上げの練習をしていきます。演奏に動きも加わるマーチングは、目に見える部分が大きく華やかな反面、全員の動きと音を合わせていくのがとても難しいです。マーチングコンテストでは、県大会突破と四国大会金賞を目指します。

ます。

10月8日の「まほまほまつり」では、マーチングをコンパクトにしたドリル演奏を披露させていただきます。

一生懸命演奏するので、どうぞお楽しみください。

城北コミュニティだより「ともしび」編集・広報部会
年間4回発行(1月、4月、7月、10月の各1日付)

装いも新しくなった県道33号(土居町)



両側に歩道整備

土居町 県道33号工事終了へ

県道33号の土居町二丁目、同三丁目付近で行われていました南条町―土器線整備工事が間もなく終わります。

この工事で、堀川橋歩道橋辺りから東へ約180メートル間の道路両側に幅約4メートルの歩道が設けられました。照明も明るくなり、歩行者の安全が増しました。

洪水や土砂災害などで、段階的に発令される「避難情報」の意味を知っておきましょう。

「避難準備情報、避難開始」は避難勧告が発令される可能性が高い時に、一般住民に避難準備を促すもの。高齢者や身体障害者を早めの避難を促すもの。「避難勧告」は災害発生の際に、避難の立ち退きを勧められるもの。「避難指示」は災害が発生しているなど危険が切迫している際に出され、避難のため立ち退きさせるものです。

★防災メモ★

あとがき

また、同工事では歩道用地取得のため土居町二丁目側の歩道橋階段部分が東寄りに移されました。工事は平成27年度に始まりました。県道33号は高松市中新町交差点から坂出市、丸亀市を経て善通寺市稲木町までの約33キロの主要地方道。讃岐五街道の一つである丸亀街道を前身としています。丸亀市内部分は京極通りと呼ばれています。

蓬萊橋の上に立つと、広々と整備された県道33号が西に延び、城北校区が一望できます。建物の重なりに向こうに、丸亀城の石垣と天守閣がそびえ立ち、足元には土器川、南に飯野山、背後に青の山、北は瀬戸の島まで視界が全方位に広がります。ここは私のお勧め場所。この美しい故郷が永遠(とわ)に平安であれと祈るこの頃です。(橋本)

「城北コミュニティセンター」の名称を「ともしび」紙上では「明倫センター」と表記しています。